

食育だより



令和8年
7・8月号

うるま市立学校給食センター第二調理場

電話973-1112 FAX973-1303

うるま市立学校給食センター第二調理場は、42年の歴史に幕を下ろします。

具志川地区の給食は1949年に沖縄文教学校附属初等学校（現在の田場小学校）でララの贈物配給により、ミルク給食が開始されたのが始まりです。その後、1956年には小学校全児童にミルク給食が提供されるようになりました。

1960年にはあげな小をかわきりに、パン給食が実施されていきます。

具志川での完全給食（パンとミルクおよびおかず）の実施は1966年（昭和41年）にあげな中学校と兼原小学校が単独で実施したのが最初です。

その後1968年（昭和43年）に給食センター（旧第一調理場）が設立され、1969年から具志川市内の全児童・生徒に完全給食が開始されました。

1984年（昭和59年）にはその隣りに第二学校給食センター（第二調理場）が完成し、小学校用（9校）の給食センターとして、完全給食を提供されるようになりました。

第二調理場では42年間、給食を作り続けてきましたが、施設の老朽化のため、新しい給食センターへ引っ越しします。第二調理場で作る給食は7月17日（金）が最後となります。この日はデザートも提供しますので、感謝の気持ちを持って給食を味わってくれると嬉しいです。2学期からは新しくできた石川調理場で小学校10校、中学校2校の約7550人分の給食を作ります。2学期からも美味しく安全な給食を提供出来るように頑張りますので、よろしくお願ひします。

（具志川市史より一部抜粋）



『県産品奨励月間』は、毎年7月に行われる沖縄県の取り組みです。県産品の愛用を通して、地場産業の発展や雇用の拡大を図り、豊かで活力ある沖縄県を作ることを最大の目的としています。

給食でも7月はうるま市産や県産の食材を使った料理がたくさん出ます。

お楽しみに・・・

